浦町中だより

令和4年度 第9号
令和4年12月23日(金)
浦町中学校発行 文責：校長

「凡事徹底」で当たり前を極める浦中生、しかし継続は難しい～終業式校長式辞

２学期の目標は『凡事徹底』～当たり前を極める浦中生～でした。全校生徒が自分の力をしっかりと正しく発揮してくれたことは、２学期中の数多くの行事や学校生活の取組の様子、各種大会の表彰などから分かりました。全員の通知表に目を通して、一歩一歩着実に成長している様子が読み取れ、うれしく思います。冬休み中も『凡事徹底』～当たり前を極める～を意識し、特にリズムを崩さないように気を付けましょう。心掛けてほしいことは次の３つです。

「１　自分のやるべきことをきちんとやる」「２　最後まで丁寧に仕上げる」「３　感謝を態度や言葉で表す、人に親切にする」 どれも難しい課題ではないですが、継続は難しいです。自分との戦いに負けないでほしいです。

令和５年もインフルエンザやコロナ、様々な感染症との戦いが続きます。人間にとって一番大切なものは、何より「健康な心と体」です。自分の体調は自分でしっかり管理しましょう。

３年生諸君は、夢や目標を叶え、なりたい自分になるため、自分との戦いが続きます。**「焦らず　弛まず　怠らず」**を合言葉に、１分でも長く１頁でも多く努力を続けましょう。健闘を祈ります。

明日からの２３日間、安全で楽しく、何より皆さんが成長できる冬休みであることを願います。

2学期のPTA活動や教育活動への御支援御協力、誠にありがとうございました

12/16(金)の授業参観及びＰＴＡ例会における校長からの伝達事項を抜粋して掲載します。

振り返りますと、コロナ第７波の中、本市全小・中学校は分散登校で２学期が始まりました。これまでの学習の成果を生かして、より高い目標を目指したり、より深く内容を掘り下げたりする２学期は、多くの体験学習や外部に発表する場面が多くあり、評価をいただくことで、次のステップへの足がかりとなります。学校としての目標（方向性）は２つ、『学び（教育活動）を止めない』⇒「どうやったらできるか、どこまでならできるか」、そして『感動を伴う行事や特別活動の推進』では「成すことによって学ぶ」「自己有用感の向上」がありました。行事の実施に当たっては賛否両論あり悩む場面もありましたが、今思えば「やってよかった、やらせてよかった」と自信を持って言えます。それは、子どもたちの意識がよりよく変容する場面を数多く見ることができたからです。向上が見られたいくつかの例を紹介します。

知力 ⇒ 協働学習や話合い活動の活性化、表現力向上、聴く態度の向上
徳力 ⇒ 生徒会活動の活性化、勤労・奉仕への参加意欲向上、相手を認め尊重した言動
体力 ⇒ 健全な生活リズムの確立、健康や体調の自己管理、安全管理意識の醸成、欠席者数減少

先月の保護者による学校評価アンケートでは、今年度の重点としてきた「特別活動の充実」「小中一貫・連携教育の充実」「保護者・地域連携の推進」「広報・情報提供の推進」は、わずかですが評価値が上がっており、うれしい限りです。これら学校評価等各種アンケートの集計結果等は、３学期のＰＴＡ例会や学校だよりなどでお知らせします。

冬休み期間は生活リズムが崩れないよう、御家庭での寄り添いと働き掛けを宜しくお願いします。下のフリップは、２３日間の家庭生活において参考にしていただきたく、当日配付したものから抜粋しました。

○コーチングの力「育てる。そして一緒に育つ。」
大黒柱は自主性の育成に尽きる～卓球指導者　平野真理子～
①練習方法は選手に決めさせる
②強制や押しつけはしない
③楽しいことがポイント
④極力叱らない

○言葉の効果「言葉を大切にする」
～噺家・落語家　立川談四楼～
「君は怠ける（できない）から、一日２時間は勉強しなさい」⇒子どもは自然に勉強しなくなる
「君は努力家（まじめ、やればできるの）だから、一日２時間位の勉強ならできるはずだよ」
⇒子どもはいつの間にか勉強するようになる

御家庭で特に見ていただきたいこと

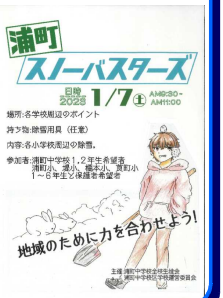
1 夜更かししない（十分な睡眠時間）
2 朝、決まった時間に自分で起きる
3 朝食（３食）をしっかり食べる
4 家の手伝いをする（役割を果たす）
5 スマホやゲームの使い方の管理
6 フルロナの家庭内感染に注意

県立保健大学との健康づくりに関する協働実習「調査研究成果発表会」開催

12月16日(金)、県立保健大学看護学科３年生のうち30人が本校を訪れ、10月の浦中祭で生徒や保護者を対象にした健康や生活習慣の聞き取り調査の結果と考察のまとめを１・２年生対象に報告しました。コロナ感染第８波のあおりを受け、集合対面からオンライン配信に変更して行いました。

運動と健康について研究したグループは、県内の中学生の肥満率が全国との比較で高い要因として、近場からの通学や車での送り迎えが多いことも一因と考え、いろいろな場面で運動の要素を取り入れる工夫をしたり、体を動かすボランティア活動に積極的に取り組んだりすることで、運動不足の解消に繋げることを提案しました。また、報告資料では部活動の地域移行化にも触れられており、地域が一体となり運動する習慣をつくる機会や活動場所の確保による運動不足の解消などを通じて、地域コミュニティーの活性化にも効果があるとし、大学生も輪に入ることでお手伝いできることもあるのではないか、とまとめられていました。

県立保健大では県内外の中学生の生活についても調査研究しており、その比較を通して、浦町中学校における特徴として、地域の人々の交流が少なくなっていること(本校20.5%,東京64.6%,南部町92.6%)やボランティア活動へ参加率が低いこと(本校10.7%,東京47.5%,南部町74.9%)、スマホ等の電子機器の所有率が高いこと(本校70.0%,平内町48.5%,南部町29.5%)、就寝時間が遅く睡眠時間が少ないこと(本校6h26m,南部町8h0m)、「元気である」と回答している生徒が他の地域より少ないこと(本校54.7%,平内町66.2%,南部町67.4%)などが課題として挙げられています。体調とその要因とのクロス集計では、睡眠時間が短い、深夜０時以降の就寝、スマホ使用時間が長い、と回答した生徒は「体調がよくない」と回答した割合も大変多くなっています。ほかに、食事時にカップ麺を食す割合が全体の５５％、菓子パンを食す割合が５０％という結果にも驚きました。人間は体が資本です。個々のパフォーマンスを最大限発揮するためにも、健康で健全な身体をつくることを第一に考えなければなりません。不名誉な「短命県日本一」返上に向けて、御家庭でも生活習慣改善に向けてできることから健康づくりにチャレンジしませんか。



【１２月の栄光の記録】

【令和4年度第18回学校図書館読書感想文コンクール】
［読書感想文部門］中学校の部
佳作　３年　藤　愛子　題「銃を向ける先に」

【第68回青少年読書感想文コンクール】中学校の部
優秀賞　２年　三浦　楓陽　題「今を変える」
入　選　２年　宮城　祐太　題「それぞれの悩みと願う未来」
佳　作　１年　三上　滉人　題「世界の平和を願って」
準佳作　１年　川村　悠月　題「想像力」

【第64回ＮＨＫ杯青森県卓球選手権大会】
中学生女子シングルス　第２位　長内　真桜
第５位　奥崎　愛梨

【第66回日本学生科学賞青森県審査会】
化学部門　最優秀賞　2年　礒　琢人
化学部門　最優秀賞　1年　平野　頼央
植物部門　優　秀　賞　3年　松林　悠
地学部門　優　秀　賞　2年　早海　光
化学部門　優　秀　賞　2年　三浦　大輝
化学部門　優　秀　賞　1年　齊藤　白琉
物理部門　優　秀　賞　1年　李澤　歩

【第31回青森県声楽アンサンブルコンテスト】
中学校の部　銀賞　浦町中学校
秋元　愛佳、今　紫森、中村　綾花、水谷　美祐
髙杉　咲愛、井筒ひなた、阿部　香帆、木村　優作

12月下旬～１月の主な行事予定

26日(月)引落日①、３年授業日～12/27
２年補充学習～12/27、１年学習会
29日(水)年末休業～年始休業1/3(月)
4日(火)引落日②
7日(土)浦中ＣＳ除雪ボランティア
8日(日)はたちのつどい(成人式)本校体育館
10日(火)３年模擬テスト～11日、1年出校日
11日(水)２年出校日、支援出校日
12日(木)小・中連携合同冬季研修会
13日(金)３年学習会、英語検定
臨時学校運営協議会
14日(土)テスト前部活動停止期間～16日
16日(月)３学期始業式
17日(火)１・２年実力テスト
３年午前授業・願書押印～20日
24日(火)引落日①
26日(木)防災訓練③
31日(火)常任特別委員会
※本市成人式「はたちのつどい」開催に伴い、会場準備と片付けのため、1月6日(金)～8日(日)までの期間、学校施設開放は中止となります。

2022年「今年の漢字」の第１位には『戦(せん)』が選ばれたのは記憶に新しい。ロシアによるウクライナ侵攻を目の当たりにして、他にも「争」「命」「悲」「変」など戦争を想起させる漢字が複数ランクインした。残念ながらウクライナ侵攻は勃発から10か月経っても解決の糸口が見い出せない。更に、これは２か国間だけの問題ではない。近隣国や友好国同士、更には様々な恩恵を受けてきた全世界が直面し、共倒れする危険性をもはらんでいる。

コロナ禍以降、人と人との意思の疎通が難しくなったと感じることが多い。コロナだったから、といつまでも何かのせいにしてはいられない。人間は自分の意思で未来を切り拓くことができる生き物であるはず。ここが学校における最大の使命であると考えている。占い的で恐縮だが、来年の干支『卯年』に因んで、景気回復や争議解決、平和第一な世の中になってほしいと強く願いながら一年を終える。皆様、よいお年を…。